

## 新東名磐田スマートインターチェンジ地区協議会

### 設立趣意書

平成 16 年、スマートインターチェンジの導入を目的に社会実験が開始されましたが、平成 21 年 2 月に高速道路の利便性向上、地域の活性化及び物流の効率化等に寄与することを目的とした「スマートインターチェンジ[ 高速道路利便増進事業 ]制度実施要綱」が策定され、本格導入に関する基準が示されました。

こうした中、新東名高速道路の森掛川インターチェンジと浜松浜北インターチェンジ間へのインターチェンジ設置については、高速道路の有効利用、地域住民の利便性の向上を図ることが出来るだけでなく、近接する新平山工業団地や平成 26 年度より造成を開始予定の下野部工業団地からのアクセス向上及び企業誘致が促進されることによる雇用創出が図られると共に、当該地域の更なる産業の活性化に大きく寄与すると考えております。

その他、大規模災害への備え及び救急医療サービスの向上の効果が期待されるため、本地域の産業振興・活性化には必要不可欠なものであります。

このため、国土交通省、静岡県、中日本高速道路株式会社、商工団体及び磐田市が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討・調整を行い、供用後も継続して、社会便益、安全性、採算性、管理・運営方法等を定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す場として、「新東名磐田スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

平成 24 年 12 月 19 日

磐田市長 渡部 修